

足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターだより④

31年1月16日 多職種連携事例検討会

事例紹介は主任ケアマネの朗読劇
で(アレ?金原先生もいる)



飲み物とおにぎり・お菓子を
つまみながら

今度は、どこへ行こうかな?
ねえ、ここ座っていい? どうぞ!



募集します!!

来年度もワールドカフェ方式
で事例検討をしたいと思いま
す。

次回は朗読劇ではなく、演劇を
という要望が上がっています。
多職種で幅のある介護劇をやっ
てみたいと思う方を募集しま
す。(俳優、脚本、演出、舞台監
督、音響、大小道具、衣装など)
報酬無し。思い出に残る仕事の
一つにいかがですか。応募はセ
ンターまで

多職種連携事例検討会を開成町民センターで開催しました。参加者は70名
テーマ:『老々介護の認知症でも在宅で暮らせる!』

ワールドカフェ方式でグループを何度か移動してより多くの方と意見交換
でき、又、自由な意見を出し、結論も必要がないので、気軽に話せました。

「高齢夫婦の認知症の妻への介護」の事例で皆さんからは、『認知症を地域で
支えるには住民が認知症の理解を深め、患者や家族も病気を隠さず認知症に
なっても暮らし続けられる地域になればいいな』『夫婦の結婚式や社会参加
の提案』が沢山出されました。最初の班に戻ってきたメンバーが、最初は文
字が少なかった模造紙が、いっぱい埋まった様子を見て驚いていたのが印
象に残りました。みんなの力を出し合うって素晴らしい!!

2月14日あしがらケアマネジャー連絡会研修会 スーパービジョン

あしがらケアマネジャー連絡会の研修会としてスーパービジ
ョンを実施しました。5年間の猶予があるとはいえ、主任ケアマ
ネジャーは、設置義務となり、主任ケアマネに課せられる役割
は、大きいです。足柄上病院の講義室を借用して新人ケアマネ
ジャー(2月から2年まで)9人、主任ケアマネジャー8人が、
3班に分かれて高齢独居の男性がん患者の事例でGWを行いました。
そのまま懇親会へと流れ9名(新人3名主マネ6名)が
参加してくれました。ケアマネジャーになろうと思ったきっかけ
やこれからの抱負など自己紹介して交流を深めました。



GHと訪問介護事業所の情報交換会 2月7日・2月20日

④自然な経過で



31年度は、情報交換の他に県立足柄上病院緩和ケア認定看護師を講師に迎えて
『看取り』について1年間勉強していくことになりました。皆様にも周知してい
きますので短い時間ですが、是非参加してください。会場は県立足柄上病院講義室
です。「人生最終段階における医療のケアの決定プロセスに関するガイドライン
(ACP)」が30年3月に改訂されました。更に今年2月には、国が一般公募し、11
月30日(いい看取り・看取られ)を「人生会議の日」と名付けました。



31年1月11日 排泄ケアについて 参加者 71名

講師：県立足柄上病院 皮膚排泄ケア認定看護師 高橋佳織さん

関心の高いテーマだったので大勢の方に参加いただきました。オムツの試供品や皮膚ケアの試供品など見て触って熱心に業者の方に聞いている方もいました。ポイントは3つ、①清潔：一日1回の皮膚洗浄剤の活用②保湿・保護：尿失禁関連皮膚炎（IAD）の改善促進のためにクリームタイプを0.5g（1FTU＝フィンガーチューブユニット）③オムツの選択と当て方です。上病院では1日3回のオムツ交換ですが、長時間用のオムツは地下水路機能で尿がお肌に触れにくいので清潔です。等オムツの当て方、目的にあったオムツの選択など勉強になりました。

ここをつまんで引っ張り上げると鼠径部がピッタリになるのね。フムフム。



医療・介護地域連絡会 3月8日



小泉先生いつもありがとうございます



31年3月8日 利用者の立場に立った連携、こないに旨い事行きましたデ！ 参加者 63名

総評：ケアプランなかむら 中村 淑さん

良い連携ができた事例（看取り）を紹介いただきました。アンケートでは、『たまには良かった事例検討も楽しくてイイネ！』と言われました。中村淑さんの総評では、『顔の見える関係づくりには、直接会いに行くこと』の言葉を頂きました。アンケートでは中村さんに「会えてよかった」「79歳の経験豊富な重く熱い言葉に満足しました」「頑張ってください」等の応援がありました。快く事例を紹介していただいた訪問看護ステーションと訪問介護事業所の皆様、ワールドカフェ同様GW進行担当の主任ケアマネジャーさんにはご協力いただき感謝いたします。



足柄上地域在宅医療等連携推進協議会 3月20日

3月20日（水）の19時より大井町保健福祉センターにて足柄上地域在宅医療等連携推進協議会が開催されました。委員の医療・介護事業所の10団体の代表と上センターと1市5町の担当課長の計22名が出席しました。進行は協議会会長の大井町介護福祉課長が担当し、30年度の事業結果と31年度の事業計画の報告をしました。意見交換では、理学療法士から『実績や計画の中でリハビリというキーワードが入っていないのもっと自分たちの活動内容を発信する必要があると感じた』歯科医や他からも『地域包括ケアには歯科（オーラルフレイル）とリハビリが重要課題と認識している』と貴重な意見をいただきました。



編集後記：センターだより第4号は31年1～3月の事業報告です。研修会に毎回熱心にご参加いただく方がいて頭が下がります。先日の研修では、欠席の連絡をきちんといただいたり、代役の方が出席したりとグループワークに支障の無いよう、お心遣い頂きまして大変、助かりました。令和元年もどうぞよろしくお願いたします。

足柄上地区在宅医療・介護連携センター ☎ 43-8172 FAX 43-8176